死と処女（おとめ）（1995）

DEATH AND THE MAIDEN

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 104分
初公開日 1995/06/03
公開情報 ＵＩＰ

【解説】

ブロードウェイの同名戯曲の映画化。南米某国。独裁政権が崩壊して間もなくのある嵐の夜。ポリーナ・エスコバーは、夫の帰りを待っていた。やがて夫は、帰る途中車のタイヤがパンクしていた所を助けてくれたという人物の車で帰ってくる。酒を酌み交わしながら居間で話す２人。しかし、その会話を隣の寝室で聞いていた彼女は、その男の声を聞いた瞬間凍りついた。その声の主こそ、かつて自分を誘拐、監禁した果てにシューベルトの『死と処女』の曲が流れる中、拷問をした男の声だったからだ。彼女は二人の隙をみて引出しにあった拳銃を手にするが……。原作がブロードウェイの戯曲だけあって、この一夜の出来事のほとんどは、主人公の家の中で展開される。そこにポランスキー監督の演出や、キングズレー、ウィーヴァーなどの実力派俳優による演技合戦が加わり、映画の出来としては決して悪くはないのだが、サスペンス作品にしては脚本や伏線の張り方などが少々物足りない。

【クレジット】

監督	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski
製作	トム・マウント	Thom Mount
	ジョシュ・クレイマー	Josh Kramer
脚本	ラファエル・イグレシアス	Rafael Yglesias
	アリエル・ドーフマン	
撮影	トニーノ・デリ・コリ	Tonino Delli Colli
音楽	ヴォイチェフ・キラール	Wojciech Kilar
出演	シガーニー・ウィーヴァー	Sigourney Weaver
	ベン・キングズレー	Ben Kingsley
	スチュアート・ウィルソン	Stuart Wilson

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.